



名古屋の  
シャチボンや  
瀬戸の焼き物  
愛知も  
がんばったんだね。

1873年 ウィーン万博  
名古屋城の  
金のシャチホコ

明治維新で天守閣からおろされ、あわや落かされる運命にいたところが、その価値が認められ博覧会へ。雖は日本各地、雖はウィーンへ。帰りの船は沈んだが（1999年9月この船が海底で発見された）、雖は途中、船を下りていて無事だった。しかし、このシャチホコ、残念ながら、太平洋戦争の空襲で焼けてしまった。

1876年 フィラデルフィア博  
日本館と出品物

上、純和風の瓦屋根の日本館。右、鶴の置物や扇風などの出品！物。花びんの模様にも鶴が。このところから鶴は日本のシンボルだった。アメリカでも日本の美術工芸品は評判となる。

1882年 コッホ、結核菌発見  
1883年 ダイムラー、自動車発明

大砲と観察

アメリカ政府館前に置かれた大砲で遊ぶ子ども。万博では大砲などの兵器や武器もたくさん展示されていた。いつも身近で戦争が起こっていた時代だったことがわかる。

みたいな大発明家に  
ヘルやエンジン